

平成28年度 国営土地改良事業事後評価公表地区 評価結果一覧

地区名	地区概要	今後の課題	総合評価	B/C	技術検討会の意見(委員長素案)
国営かんがい排水事業 利別川地区 (せたな町、今金町)	【事業費】 147億円(決算額) 【事業期間】 平成7年度～平成18年度 (機能監視:平成19年度～平成21年度) (第1回計画変更:平成14年度) 【受益面積】 1,920ha(田:1,749ha、畑:171ha)(平成12年現在) 【受益者数】 317人(平成12年現在) 【主要工事】 頭首工 4箇所(新設1箇所、改修3箇所) 揚水機 1箇所(新設) 用水路 5条、15.4km(新設2条、3.7km、改修3条、11.7km) 【関連事業】 道営経営体育成基盤整備事業 181ha 道営中山間地域総合整備事業 156ha ※関連事業の進捗状況:92%(平成27年度時点)	<p>今金町では、平成25年度から国営緊急農地再編整備事業により区画整理や担い手への農地集積、地下水位制御システムの整備等を行っており、担い手に農地を集積する規模拡大型と施設野菜に特化した集約型による「今金型複合経営」を推進し、地域農業の振興を図ることとしている。</p> <p>地域が目指す農業振興に資するため、農業用水を安定的に供給する本事業の効果が持続的に発揮されることが重要であり、整備した農業用排水施設の機能診断を定期的実施し、適時適切な補修・補強と計画的な更新整備を実施する必要がある。</p>	<p>本事業及び関連事業の実施により、かんがい用水の安定供給及びほ場整備が行われ、水管理の合理化、農作物の生産性の向上、営農作業の効率化等の効果が発現し、農業経営の安定に寄与している。</p> <p>水田の用水改良及び区画整理により、適期の代かき、移植及び深水かんがいが実施され、「ななつぼし」、「ふっくりんこ」、「ゆめびりか」等の良食味米の作付が増加している。</p> <p>加えて、事業を契機に「YES!clean」米栽培の取組がはじまり、河川の水質に与える負荷が軽減されるなど後志利別川の良好な河川環境維持に貢献しているとともに、頭首工の改修に伴う魚道付設、ならびに新設頭首工に設置した魚道は、魚類の生息環境の回復、保全に寄与している。</p>	1.06	<p>本事業及び関連事業の実施は、用水不足を解消し、良食味米栽培を可能にした。また、水管理に要していた時間の短縮などが、環境保全型農業の取組や経営規模の拡大につながったと認められる。</p> <p>また、環境保全型農業の取組は、日本有数の清流である後志利別川の水環境保全にも貢献していると評価できる。</p> <p>加えて、頭首工の改修にともなう魚道付設、ならびに新設頭首工に設置した魚道は、魚類の生息環境の回復、保全に寄与している。</p>
国営かんがい排水事業 空知川右岸地区 (富良野市、中富良野町、上富良野町)	【事業費】 478億円(決算額) 【事業期間】 平成3年度～平成18年度 (機能監視:平成19年度～平成21年度) (第1回計画変更 平成14年度) 【受益面積】 4,583ha(田:4,583ha)(平成13年現在) 【受益者数】 719人(平成12年現在) 【主要工事】 頭首工 1箇所(改修) 用水路 34条 L=54.6km 【関連事業】 国営農地再編整備事業 2,040ha 道営ほ場整備事業 717ha 他 ※関連事業の進捗状況:80%(平成27年度時点)	<p>地区内では、本事業で整備された農業生産基盤のもと、現在進められているほ場の大区画化及び地下水位制御システムの整備等による効果の発現により、更なる生産性向上を図ることとしている。</p> <p>現在実施中の農業生産基盤整備による更なる効果の発現のため、農業用水を安定的に供給する本事業の効果が持続的に発揮されることが重要であり、整備した農業用排水施設の機能診断を定期的実施し、適時適切な補修・補強を行うとともに、計画的な更新整備を実施する必要がある。</p>	<p>本事業及び関連事業の実施により、かんがい用水の安定供給及びほ場整備が行われ、水管理の合理化、農作物の生産性の向上、営農作業の効率化等の効果が発現し、農業経営の安定に寄与している。</p> <p>水田の用水改良及び区画整理により、適期の代かき、移植及び深水かんがいが行われ、「ななつぼし」、「ゆめびりか」等の良食味米の作付が増加するとともに、用水を活用し、たまねぎなど野菜類の生産拡大や品質向上が図られている。</p> <p>また、安定した農作物の生産と営農作業の効率化は、環境保全型農業の展開や6次産業化を通じた農家所得向上の取組につながっている。</p> <p>加えて、本事業で整備したせせらぎ水路や防火柵等においては、地域用水機能が十分に発現されているとともに、基盤整備によって形成された広大な農地が生み出す景観は、観光面でも効果を発揮している。</p>	1.22	<p>本事業及び関連事業の実施は、用水不足を解消したことに加え、適期に必要な用水を確保することで良食味米の栽培を可能にした。また、水管理に要していた時間の短縮が、環境保全型農業の取組や経営規模拡大につながったと評価できる。</p> <p>また、用水の活用によってたまねぎなど野菜類の生産拡大や品質向上が図られ、6次産業化を通じた農家所得向上の取組につながったことや、基盤整備によって形成された広大な農地が生み出す景観は、観光面にも効果を発揮している。</p> <p>加えて、本事業で整備した地域用水は、せせらぎ水路や防火柵などとして有効に利用されている。</p>
国営かんがい排水事業 札内川第一地区 (帯広市、中札内村、更別村、幕別町)	【事業費】 336億円(決算額) 【事業期間】 平成2年度～平成18年度 (機能監視:平成19年度～平成21年度) (第1回計画変更:平成11年度) 【受益面積】 8,050ha(畑:8,050ha)(平成9年現在) 【受益者数】 363人(平成9年現在) 【主要工事】 頭首工 1箇所(新設) 用水路 260.9km 排水路 8.1km 【関連事業】 道営畑地帯総合整備事業 7,251ha ※関連事業の進捗状況:94%(平成27年度時点)	<p>札内川導水路の一部区間においては、破損による漏水やひび割れが発生し、安定的な用水供給に支障を来していることから、平成28年度から国営施設応急対策事業により対策を行うことにしている。</p> <p>今後とも、事業効果を継続的に発揮させるため、整備した農業用排水施設の機能診断を定期的実施し、適時適切な補修・補強を行うとともに、計画的な更新整備を実施する必要がある。</p>	<p>本事業及び関連事業の実施により、畑地かんがい施設の整備及び排水改良が行われ、農作物の生産性の向上、営農作業の効率化等の効果が発現し、農業経営の安定に寄与している。</p> <p>また、かんがい用水の安定供給により、適期にかん水、防除が行われ、環境保全型農業の展開に寄与していることに加え、地域の特産物であるえだまめなど高収益作物の安定生産につながっている。</p> <p>作物の安定生産が可能となったことは、農産物加工処理施設の拡大に伴う雇用の増加や安定した取引先の確保につながり、地域振興に寄与している。</p>	1.11	<p>本事業及び関連事業の実施は、かんがい用水の安定供給に貢献し、適期のかん水・防除を可能にした。また、環境保全型農業の展開、及び地域の特産物の安定生産にも寄与したほか、ほ場の排水性改善が受益農家の経営安定に寄与したと評価できる。</p> <p>加えて、付加価値の高い作物の安定生産は、農作物加工処理施設の拡大に伴う雇用の増加や取引先の安定確保につながり、地域振興にも貢献したものと認められる。</p>
国営総合農地防災事業 湧別地区 (湧別町)	【事業費】 46億円(決算額) 【事業期間】 平成15年度～平成22年度 【受益面積】 805ha(畑:805ha) (平成14年現在) 【受益者数】 57人(平成14年現在) 【主要工事】 排水路 7条、9.7km 暗渠排水 765ha 整地 175ha 【関連事業】 なし	<p>本事業の実施により、飼料作物の収量の回復や営農作業の効率化が図られたことに加え、本事業を契機に設立されたTMRセンターの稼働がほ場作業時間の削減や均一な粗飼料の供給につながっている。</p> <p>今後とも、営農作業の効率化などの事業効果を継続的に発揮させるため、整備した農業用排水施設の機能診断を定期的実施し、適時適切な補修・補強を行うとともに、計画的な更新整備を実施する必要がある。</p>	<p>本事業の実施により、降雨時の湛水被害等が解消され、牧草、青刈りとうもろこしの収量が回復するとともに、降雨後の作業が早期に行える等、営農作業の効率化が図られている。</p> <p>また、本事業による粗飼料生産基盤の改善が、TMRセンター設立の契機となり、センターの稼働に伴って、飼料の高品質化と均一化が図られている。</p> <p>加えて、個々の酪農家は、ほ場作業時間の削減と相まって乳牛管理にかかる時間を増やすことができたため、乳量の向上や疾病の減少につながり、戸当たり乳量が1割以上増加するなど所得向上に寄与している。</p> <p>また、魚類の生息環境との調和に配慮した護岸整備により水生生物の生息環境が保全されている。</p>	1.51	<p>本事業の実施は、排水路・暗渠・整地等の整備を通じてほ場条件を改善し、牧草の単収回復とともに農作業の効率化が図られ、農業経営の安定に寄与したものと評価できる。</p> <p>また、本事業による粗飼料生産基盤の改善がTMRセンター設立の契機となり、センターの稼働にともなって飼料の高品質化と均一化が図られた。酪農家は、ほ場作業時間の削減と相まって乳牛管理にかかる時間を増やすことができるようになったため、戸当たり乳量が1割以上増加するなど、所得向上に寄与したと認められる。</p> <p>加えて、魚類の生息環境との調和に配慮した護岸が整備されるなど、地域の自然環境保全にも貢献している。</p>